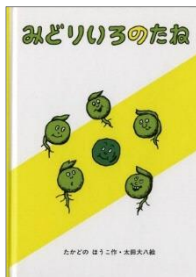


みどりいろのたね

たかどの ほうこ／作 太田 大八／絵
福音館書店 1988年

まあちゃんのクラスでは、みんなではたけに、えんどうまめのたねをまきました。ところがまあちゃんは、うっかりみどりいろのあめだまをうめてしまいました。土の中では、えんどうまめとあめだまがにらみ合い。さて、どんなえんどうまめがとれるのでしょうか？



わにのはいた

マーガリット・ドリアン／ぶんとえ
光吉 夏弥／やく 大日本図書 2010年(初 1983年)

ワニの子アリは、はいしゃさんに行こうとして、はんたい行きバスにのってしまいます。となりのせきの男の子と友だちになり、家までついていきますが、夜中にまたはがいたくなって…。アリはちゃんとはいしゃさんに行けるのでしょうか？



2023 年度作成

ちばしとしょかん 千葉市図書館おすすめブックリスト

よんでみよう

ねんせい
<1・2年生>

あなたの心に豊かな読書体験が残るように、
図書館員が心をこめて本を選びました。

まだまだおすすめ
あります！

この本もよんでみよう

- 「王さまと九人のきょうだい」赤羽 末吉／絵 君島 久子／訳 岩波書店 1969年
- 「がちょうのペチューニア」ロジャー・デュボワザン／作 まつおかきょうこ／訳 富山房 1999年
- 「きかんしゃやえもん」阿川 弘之／文 岡部 冬彦／絵 岩波書店 1959年
- 「しょうぼうねこ」エスター・アペリル／作 藤田 圭雄／訳 文化出版局 1974年
- 「ふたりはともだち」アーノルド・ローベル／作 三木 卓／訳 文化出版局 1972年

千葉市図書館

中央図書館	043-287-3980	若葉図書館	043-237-9361
みやこ図書館	043-233-8333	緑図書館	043-293-5080
花見川図書館	043-250-2851	美浜図書館	043-277-3003
稲毛図書館	043-254-1845		

その他、分館・公民館図書室の情報や、各館の詳細情報はホームページをご覧ください。

千葉市図書館 検索



あおい目のこねこ

エゴン・マターセン／さく・え せた ていじ／訳
福音館書店 1965年

あおい目のこねこはいつもはらぺこ。ごちそうにありつくため、ねずみの国を見つけに出かけます。元気なこねこはどんなことにもへこたれず、すすんでいきます。



やかましむらのこどもの日

リンドグレーン／さく ヴィークランド／え
やまのうち きよこ／やく 偕成社 1983年

やかましむらにすむ6人の子どもたちは、いつもいっしょにあそんでいます。みんなで「こどもの日」をつくり、楽しいあそびをかんがえましたが、2才のシャスティーンは、どれもこわがってなき出すばかり。しぜんの中で、のびのびとあそぶおはなしです。



エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット/さく ルース・クリスマン・ガネット/え

わたなべ しげお/やく 福音館書店 1963年

9才のエルマーは、年とったのらねこから、どうぶつ島ではたらかされている、かわいそうなりゆうの子の話を聞きました。エルマーはりゆうの子をたすけようと、おかしなものばかりをリュックにつめて出かけます。地図を見ながら読むと楽しい本です。全3巻。



きえた犬のえ ぼくはめいたんてい

マージョリー・W・シャーマツ/ぶん マーク・シーモント/え

光吉 夏弥/やく 大日本図書 2014年(初 1982年)

ネートは9才の男の子。ある日、友だちのアニーから「犬の絵がきえたのでさがしてほしい」と電話がありました。ネートはほんものめいたんていのように、友だちの話や、てがかりをもとに、じっくり考えて、みごとになぞをといていきます。全17巻。

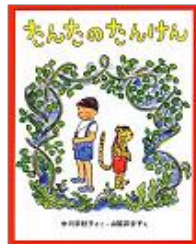


たんたのたんけん

中川 幸枝子/さく 山脇 百合子/え

学研プラス 1971年

たんたの5才のたんじょう日にふしぎな地図がとどきました。たんたは地図とぼうしとおかしとぼうえんきょうをもって、たんけんに出かけます。すると、ひょうの子がつかってくるではありませんか……。地図とさし絵も楽しい本です。全2巻。



どれみふあけろけろ

東 君平/作・絵

あかね書房 1981年

たっくんはおよげないので、プールのある日は元気がありません。カエルのおよぎを見て、「ぼくもカエルになりたいなあ」とつぶやくと、カエルの学校のせいとになっていました。たっくんはカエルの学校で、うたとおよぎをべんきょうします。



なぞなぞのすきな女の子

まつおか きょうこ おおこそ れいこ
松岡 享子/さく 大社 玲子/え

学研プラス 1973年

なぞなぞのすきな女の子は、森でオオカミにであい、なぞなぞあそびをします。「しっぽふとくて、口ぱっくり。しろいはぎざざとがってて、まっかなしたべろぺろりとたらし、耳もくろけりや、手もくろい。—なあんだ？」オオカミさんはこたえられません。ひょうしのうらにもなぞなぞがあります。

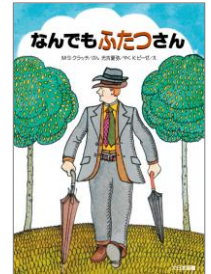


なんでもふたつさん

M.S.クラッチ/ぶん K・ビーゼ/え

光吉 夏弥/やく 大日本図書 2010年(初 1977年)

「なんでもふたつさん」は、何でも二つないと気に入りません。ふくも、くつも、いえも、しごと二つなら、なやみも二つ。そのひとは、おくさんがひとりしかないこと、もう一つは、子どもがひとりしかないことでした。



はじめてのキャンプ

林 明子/さく・え

福音館書店 1984年

なほちゃんは小さい女の子。大きい子のキャンプにつれて行ってもらいたくて、おもいにもつをもつ、ごはんをたくまきをあつめる、くらくらなくてもこわがらない、なかない、とやくそくします。なほちゃんは、やくそくをまもれたのでしょうか？



番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー/さく 大社 玲子/え

松岡 享子/やく 福音館書店 1992年

ドドさんの家のかべのすきまにすむネズミのうち、3びきはおとなしくしずかな子でしたが、4ひき目は声が大きくて、やかましやのヤカちゃんとよばれていました。ヤカちゃんはあぶない目にもあいますが、大きな声のおかげで大かつやくします。

